

下諏訪市創造チャレンジ事業 活動紹介 第4弾 龍の口から水月園までの環境整備事業

町では、住民による自主的・主体的に取り組む公益事業に対して支援をしています。クローズアップしむすわでは、これまでに実施された事業の取組を紹介しています。下諏訪市創造チャレンジ事業については下諏訪町 総務課 企画係（電話27-1111内線258）までご連絡ください。



観光客や町民が気軽に町内の歴史や文化に触れ、楽しくまち歩きができるように、歴史文化の拠点を結ぶ導線の安全な環境を整備するため、龍の口から慈雲寺方面の国道142号線までの石階段への手摺りの設置や石階段に土砂が流れ込まないように石段横石垣上部への玉竜の植栽、稲荷堂から矢除け石間の石積みの整備、周囲の草刈り等を行いました。また、慈雲寺周辺の春には桜、秋には紅葉をライトアップし、大勢の観光客や町民の皆さんに鑑賞していただきました。

申請者：第1区里山環境整備委員会
 支援額：129万円（平成30年度）
 支援期間：平成29年度～令和元年度



防災士 シェイクアウト!

防災ネットワークしむすわだより vol.9

シェイクアウト(Shake Out)とは？

「地震を吹き飛ばせ」といった意味の造語。アメリカ合衆国で始まった地震防災訓練。「Drop (まず低くしゃがむ)」「Cover(頭を守るかかくる)」「Hold On(動かない、待つ)」のシンプルな訓練。

●第1区の活動をご紹介します●

第1区は、諏訪大社春宮、慈雲寺を中心に東西0.8km、南北2.5kmと、下諏訪町で2番目に区の人口が多く、約2,600人の方々が住んでいます。県道、国道142号線、一級河川砥川、また桜の名所「水月園」があり、桜が咲き誇り、多くの方に鑑賞していただいております。しかし、いざ災害となれば国道の通行止め、川の氾濫、決壊、土砂崩れが予想され、甚大な被害が起こり得る地域であります。

「第1区防災ネットワーク」は、昨年末に区の自主防災組織として正式に認められ活動しております。

今年に入り3回の会議を開催し、各町内会の危険箇所等の拾い出しを行い、避難の仕方・各町内会の実態にあった災害の対処について「避難方法」「被害に遭わないためにはどうするか絶えず話し合いをすることが大切」と区に要望しました。

10月に発生した台風19号では、長野県の河川を含み多くの地域の河川の氾濫、決壊が起き、甚大な被害が出ました。十数年に一度の災害を「想定外」から「すべて想定内」にする必要があると思います。

台風等が通り過ぎれば「何もなかったじゃん、良かったね。」「諏訪は何もねえところだでな。」ではなく、災害に対する認識を新たにしたいものです。区民の皆さん!!防災に対する意識を考えましょう。

第1区防災ネットワークしむすわ 支部長 久保田 昭

今月の防災豆知識 洪水はどうして起こる?洪水が起こる仕組み

短い時間に集中して降る雨によって洪水が起こるのは、普通に雨が降るときとは違っていています。激しい雨の時は、地中にしみこむ雨の量よりも、地面を流れる雨の量の方が多いため、洪水が起こるまでの時間が短くなり、河川の水位も急にあがるが多くなります。

土石流はどのぐらいの速さで流れてくるのでしょうか。
 ①人が走る速さ ②車が走る速さ ③新幹線の速さ



☆先月のクイズの答え ①:買い物かごは意外と強度があります。お気軽に何でもご相談ください。防災ネットワークしむすわ 事務局 電話28-2231



無駄のないリフォーム計画を!!

現在のお住まいを、終の住処としてお考えの方

今後、同居をお考えの方 など

お気軽にフリーダイヤルまでご連絡ください

ご家族の要望が整理できる資料をセットで無料進呈中、専門技術者がご相談にも対応いたします。

プランニングブック

実際のお施主の声



無料進呈



長野事業所 / 〒399-0014長野県松本市平田東2-19-3クレアル1階
 午前9時～午後6時(土・日・祝も受け付けております)

0120-456-204

広告の内容については広告主にお問い合わせください。

11月1日現在 人口 19,912人 (男 9,620人・女 10,292人)
 下諏訪町ホームページ <http://www.town.shimosuwa.lg.jp>

世帯数 8,822世帯 ※住民基本台帳数値

印刷/オノウエ印刷

2019.12

20